



3 月保育所だより



今年度も早いもので残りわずかになりました。進級・入学を前にした子どもたちは、不安と緊張もある反面、期待に胸を膨らませているようです。期待と不安の子どもたちを見守りながら、お友だちや担任と楽しい思い出が作れるようにして行きたいと思っています。

3 月の行事予定

1 日	金	ひなまつり会 修了記念撮影 (5 歳児)
5 日	火	わんぱく体操参観 (5 歳児)
7 日	木	茶道 (5 歳児) クッキング保育 (5 歳児)
8 日	金	誕生日会
11 日	月	リズム遊び クッキング保育 (3 歳児)
12 日	火	クッキング保育 (4 歳児)
13 日	水	かがやきタイム クラス懇談会 (3・4・5 歳児)
14 日	木	がんばれ大会 クラス懇談会 (0・1・2 歳児)
20 日	水	おわかれパーティー 地域老人交流会
23 日	土	修了式
25 日	月	おわかれ遠足
27 日	水	終わりの会 クラス移動



ぞう組・クラスだより

お友だちとの関りがぐーんと深まり、また、一人ひとりの育ちをとっても感じる毎日です。そんな子どもたちの出来事。給食の時“ご飯とおかずを順番に食べましょう”とまんべんなく食べ終わられるように約束をしています。大好きなお肉を先に食べてしまってご飯が残っちゃった、苦手な野菜が手つかずに・・・なんてことがなくなりました。ご飯と汁物、おかずを自分たちで三角に置き、ごちそうさまの時間を気に留めた食事ができるようになり「お茶碗は持つんだよ」「ひじき、集まれしてないよ」「フォークはバンバン持ちだよ」なんて、自分たちの気づきを教え合う姿が見られます。遊びでは“お手紙書き”がちょっとしたブームになっています。はがき大の紙に可愛い絵を描いたり、覚えたての文字でお手紙を書いたり、表にはちゃーんと宛名を書いて、郵便番号の四角に自分の名前を書いちゃうエピソード付きです。自分の引き出しから、のりを出して切手を貼ることもお楽しみの一つようです。

☆平成 31 年度も延長保育をされる方は、改めて申請が必要です。(後日書類をお渡しします。)

☆平成 30 年度修了式☆

※日時：3 月 23 日 (土) 10 時～11 時 15 分 (終了予定)
※4 歳児ぞう組は、園児代表で修了式に参加します。

☆おわかれ遠足☆

※日 時：3 月 25 日 (月) 8 時 45 分～50 分 (集合)
※行 先：多摩動物公園 (雨天延期)
※持ち物：お弁当、水筒、おやつ、レジャーシートなど。
詳細は別にお知らせします。

☆クラス懇談会☆

※日時：3 月 13 日 (水) 3・4・5 歳児
3 月 14 日 (木) 0・1・2 歳児
16:00～16:55 クラス懇談会
17:00～17:55 全体懇談会



☆わんぱく体操参観・5 歳児☆

※3 月 5 日 (火) 9:30～11:10 わんぱく体操を通して子どもたちができるようになったこと、頑張ったことを披露します。

りす組・クラスだより

1 組：歌が大好きな子どもたち。最近のお気に入り「コンコンクシャン」です。振り付きで上手に踊っています。リクエストを聞くと「アンパンマン」「きのこ」「おいもさん」が人気で、イントロクイズに出たら優勝できそうなくらい、前奏を聞くと反応して盛り上がっています。良く聞いていると正しい言葉となんとなくの言葉が混ざり大きな声で気持ちよさそうに熱唱しています。歌からも言葉を習得しています。遊びも一人遊びから友だちの存在を意識し同じ玩具と一緒に遊ぶ姿が見られてきています。おままごとはもちろん外では追いかっこ、かくれんぼなど一人ではできない遊びを楽しむ姿に成長を感じています。遊びの中で言葉のやりとりも増えていけばと会話に参加しながら遊んでいます。子どもたちのおもしろ発言を共有できたら嬉しく思います。

2 組：一人遊びよりもお友だちと一緒に遊ぶ方がもっと楽しいことも知ることができるようになってきました。とは言え一緒に遊んでいるとお友だちの使っている物の方が良い物に見えてきて「かして」「いや」とトラブルに発展してしまうことがあります。トラブルは決して悪いことではなく相手の気持ちを知ること、自分の気持ちを言葉で相手に伝える大切な経験とコミュニケーションとして受け止め、状況を見守りながらケガに繋がらないように介入のタイミングを図っています。“ジブンデ”の意欲が増えてきています。大人がうっかり手を出してしまった時に「ジブンデ」と怒られ、始めからやり直さるほど育っています。なんでも自分でやってみたい、できる、できた、この気持ちはずっと持ち続けて欲しいです。手洗いもハンドウォッシュを自分で出し、ゴシゴシ洗い、水で流し「ここ忘れたね」と伝えると自分で確認しペーパータオルを自分で取り、ごみ箱に捨てる流れが全員に身に付きました。手洗いは外の水道・室内の水道のどちらで行ってもこの流れが完璧にできるようになり私たち保育者はすっかり見守り役になりました。進級に向けて「自分でできた」の経験がたくさん得られるようにこれまでと同様に大切にしていきたいと思っています。